

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	グループホーム勝央
日付	平成17年3月15日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	特別養護老人ホームでの介護歴 15年 在宅介護支援センターでの相談歴 11年、 家族介護歴 3年
<a href="#">自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）</a>	
<a href="#">事業者のコメントを見る（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）</a>	

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して（特に良いと思われる点など）
・入居者の方の生きてきた過程を大切に、できるかぎりその人の情報を集め、それを元にホームでの生活に生かす援助を行っています。
特に改善の余地があると思われる点
・援助項目ごとの記録はできていますが、入居者一人ひとりが日常生活を送っている中での経過記録がありませんので検討が必要ではないでしょうか。例えば、日常生活を送っている中での心の変化や、共同生活をしている中での状態の変化などの経過記録を残すことによって、グループホームで生活する入居者の全体像（生活状況）を家族に伝える際に、非常に有用であると思われます。
・入居者の意思を尊重することに重点を置かれていますが、グループホームに求められている「入居者の生活の質の向上」のベースになる部分（排泄への支援や、整容への支援等）への支援に取り組むことが、さらに必要ではないでしょうか。

### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か ・入居者一人ひとりの生活歴を全職員が理解し、その方の生き方、暮らし方を援助する。 ・ホームが自分の家と思ってもらえるような雰囲気を作る。 ・今までの生活の中で行っていた行事なども、できるだけホームの生活の中にも取り入れるようにしている。  事業所の管理者から、以上のようなお話をうかがうことができました。		

### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か  できるかぎり、今までの生活でなじみのある物を使用してもらえよう家族に働きかけています。特に、毎日使用する茶碗、箸、湯のみ、布団などは、入居時に持って来てもらえるようお願いしています。		

### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		

### ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か  個人の生活歴を大切に、以前行っていた作業などがホームでの生活の中に生かせるよう取り組んでいます。例えば、昔自宅で行っていた、豆を収穫後、数日間天日干しを行い、豆ごなし（皮をむく作業）を庭先で行ってられます。		

### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・管理者は外部研修等で学んだことを全職員に知らせるなど、質の向上に向け努力しています。 ・何かあった場合は（問題とならないことでも）、すぐ話し合い、対応等を検討しています。		